

第二回 第三国研修「保全地域における参加型ガバナンスとエコ
ツーリズムのための協働管理能力の強化」閉講式挨拶(仮訳)

2025 年 2 月 26 日

JICA コスタリカ

所長 吉田 憲

コスタリカ環境エネルギー省 戦略管理副大臣

カルロス・イサーク・ペレス・メヒア様

在コスタリカ日本国大使館参事官

松本 勝弘様

エルサルバドル共和国 特命全権大使

オスカル・アルマンド・トレド閣下

パラグアイ共和国 特命全権大使

フリオ・ドゥアルテ・ヴァン・フンベック閣下

ご令室エミリー・ハイデマン・ドゥアルテ様

ニカラグア共和国 公使参事官

グレン・カスバート様

グアテマラ共和国 一等書記官

ルイス・モリーナ・カルドナ様

そして、本コースにご参加いただいたアルゼンチン、チリ、エルサ
ルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグア
イ、ドミニカ共和国の皆さま、

国家自然保護区システム(SINAC)の皆さま、

ご列席の皆さま、

本日は皆さまに心からのご挨拶を申し上げます。

このたび、「第 2 回 第三国研修 保全地域における参加型ガバナ
ンスとエコツーリズムのための協働管理能力の強化」の閉講式に

あたり、皆さまとこの場を共にできることを大変嬉しく思います。まず、数週間にわたる皆さまのご努力と、コースの成功裏での締めくくりに対し、心よりお祝い申し上げます。

JICA では、第三国研修を通じ、参加者の皆さまが新たな知識を得て、それを自らの知見と統合し、個人・組織・地域全体の能力向上につなげていただくことを目指してまいりました。本プログラムは、すべての国の持続的な発展に不可欠な「能力開発」という理念のもと、非常に重要な取り組みであります。

また、JICA と SINAC はこれまで、「バラ・デル・コロラド国立野生生物保護区における参加型管理プロジェクト」や「生物多様性保全における参加型管理推進プロジェクト(MAPCOBIO)」などを通じて、市民参加による生物多様性保全と保護地域管理の促進、そして経験や成功事例の体系化による学びを共有してきました。

こうした成果と SINAC の豊富な実績を踏まえ、JICA は SINAC を持続可能な開発推進における重要なパートナーと位置付け、本コースの実施を支援してまいりました。本コースは、地域における責任ある観光の促進、生態系保護、地域社会の意識向上と利益還元を目指す取り組みの一環です。

本コース期間中、SINAC は主催機関として、講義や現地視察を通じて、保護地域の持続可能な管理やエコツーリズム推進に関する理論と実践の学びの機会を提供してくれました。特に、市民参加や科学、官民連携、協働による責任ある観光推進の重要性について、深く掘り下げることができました。

この場を借りて、コースの開催に多大なるご尽力をいただいた SINAC の皆さまに深く感謝申し上げます。また、参加者の皆さまに

おかれましても、非常に高い意欲と優れた能力を発揮され、活発な意見交換と知識共有を行っていただいたことに心から感謝いたします。皆さまがこのコースで得た学びが、それぞれの国や組織での活動に役立つことを期待しています。また、策定された行動計画を着実に実施し、地域のリーダーとしてさらにご活躍されることを確信しております。

さらに、参加者の皆さまには、ぜひご帰国後、各国の JICA 事務所にご連絡いただき、本コースでの学びや行動計画をご報告いただくとともに、今後の技術協力の可能性を探っていただきたいと思います。これにより、地域社会と連携した参加型ガバナンスやエコツーリズム推進の取り組みを一層強化できることを期待しています。

最後に、エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグア、パラグアイの大使館ならびに関係国政府の皆さまにお願い申し上げます。参加者の皆さまが策定された行動計画の実現に向け、温かいご支援とご協力を賜りたく存じます。また、本コースの成果を自国に広め、より多くの方々にご理解いただけるようご支援をお願いいたします。

皆さま、ご清聴誠にありがとうございました。